

港湾内における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

令和6年10月29日までの東電データまとめ

注：全ベータ測定値とは、ベータ線を放出する放射性物質（カリウム40、セシウム137、ストロンチウム90及び子孫核種のイットリウム90など）をまとめて測定した放射能濃度である。一般に海水には、天然核種のカリウム40が12ベクレル/リットル程度含まれている。

セシウム134	ND(0.27)
セシウム137	0.39
全ベータ	15
トリチウム	2.8

※1

セシウム134	: 3.3	(H25/12/24)	→ ND(0.34)	1/9以下
セシウム137	: 7.3	(H25/10/11)	→ ND(0.36)	1/20以下
全ベータ	: 69	(H25/8/19)	→ ND(12)	1/5以下
トリチウム	: 68	(H25/8/19)	→ 0.73	1/90以下

セシウム134	: 3.3	(H25/10/17)	→	ND(0.33)	1/10以下
セシウム137	: 9	(H25/10/17)	→	0.36	1/20以下
全ベータ	: 74	(H25/8/19)	→	16	1/4以下
トリチウム	: 67	(H25/8/19)	→	ND(1.8)	1/30以下

セシウム134	: 4.4	(H25/12/24)	→	ND(0.33)	1/10以下
セシウム137	: 10	(H25/12/24)	→	0.43	1/20以下
全ベータ	: 60	(H25/7/4)	→	ND(13)	1/4以下
トリチウム	: 59	(H25/8/19)	→	ND(1.8)	1/30以下

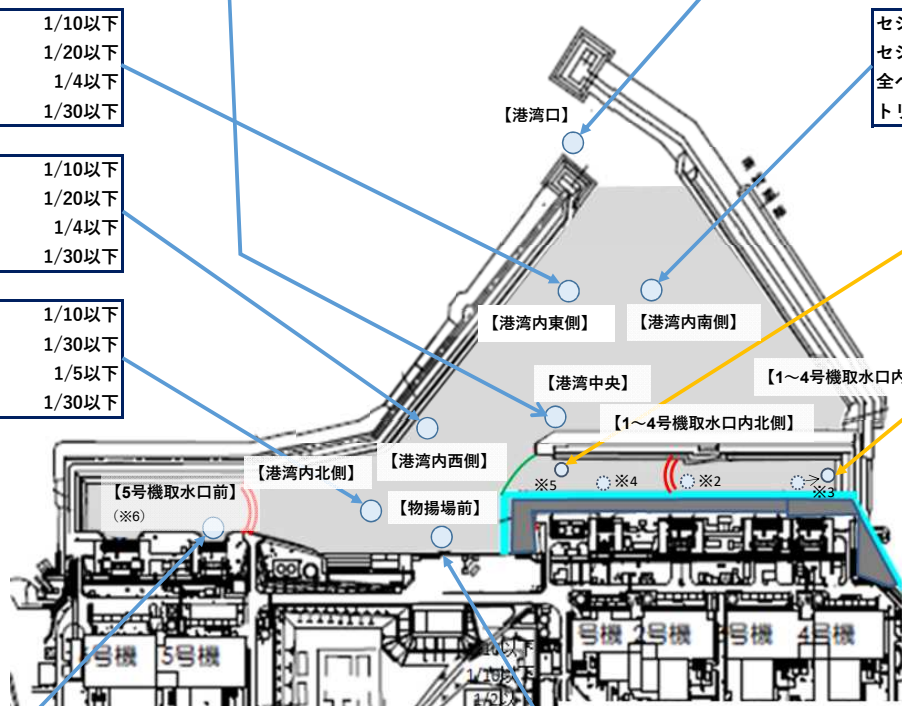
セシウム134	: 5	(H25/12/2)	→	ND(0.32)	1/10以下
セシウム137	: 8.4	(H25/12/2)	→	ND(0.27)	1/30以下
全ベータ	: 69	(H25/8/19)	→	ND(13)	1/5以下
トリチウム	: 52	(H25/8/19)	→	ND(1.6)	1/30以下

セシウム134 :	3.5 (H25/10/17)	→	ND(0.28)	1/10以下
セシウム137 :	7.8 (H25/10/17)	→	ND(0.30)	1/20以下
全ベータ :	79 (H25/8/19)	→	16	1/4以下
トリチウム :	60 (H25/8/19)	→	ND(1.6)	1/30以下

セシウム134	: 32 (H25/10/11)	→	ND(0.30)	1/100以下
セシウム137	: 73 (H25/10/11)	→	0.94	1/70以下
全ベータ	: 320 (H25/8/12)	→	ND(13)	1/20以下
トリチウム	: 510 (H25/9/2)	→	4.1	1/100以下

セシウム134	ND(0.40)
セシウム137	3.5
全ベータ	ND(13)
トリチウム	37

※1



※1:のモニタリングはH26年3月以降開始海側遮水壁の内側は埋め立てによりモニタリング終了。
 ※2:当該地点については、H30年12月12日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了。
 ※3:当該地点については、H31年2月6日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング地点移動。
 更に当該地点について、R5年1月20日以降、港湾魚類対策としてK排水路排水口へのシルトフェンス設置を行うことから、シルトフェンス外側へ移動（採取地点は東側に約3m移動。）。
 ※4:当該地点については、H31年4月3日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了。

セシウム134	: 2.8 (H25/12/2)	→ ND(0.29)	1/9以下
セシウム137	: 5.8 (H25/12/2)	→ ND(0.27)	1/20以下
全ベータ	: 46 (H25/8/19)	→ ND(13)	1/3以下
トリチウム	: 24 (H25/8/19)	→ ND(1.9)	1/10以下

セシウム134	: 5.3 (H25/8/5)	→ ND(0.31)	1/10以下
セシウム137	: 8.6 (H25/8/5)	→ 0.52	1/10以下
全ベータ	: 40 (H25/7/3)	→ ND(13)	1/3以下
トリチウム	: 340 (H25/6/26)	→ ND(1.6)	1/200以下

	法令濃度限度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90	30	10
トリチウム	6万	1万

出典：東京電力ホームページ福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果
<http://www.tepco.co.jp/decommision/planaction/monitoring/index-j.html>

港湾外近傍における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

単位（ベクレル／リットル）、検出限界値未満の場合はNDと表記し、（ ）内は検出限界値、ND(H25)はH25年中継続してND

（直近値 10/11 - 10/28採取）

令和6年10月29日までの東電データまとめ

	法定濃度限度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90	30	10
トリチウム	6万	1万

【港湾口北東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.34)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.30)
全ベータ	: ND (H25)	→	14
トリチウム	: ND (H25)	→	-

【港湾口東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.28)
セシウム137	: 1.6 (H25/10/18)	→	ND(0.34) 1/2以下
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: 6.4 (H25/10/18)	→	-

【港湾口南東側 (沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.37)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.35)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: ND (H25)	→	-

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.34)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.30)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: 4.7 (H25/8/18)	→	-

【北防波堤北側(沖合0.5 km)】

セシウム134	: 1.8 (H25/6/21)	→	ND(0.75) 1/2以下
セシウム137	: 4.5 (H25/3/17)	→	ND(0.64) 1/7以下
全ベータ	: 12 (H25/12/23)	→	12
トリチウム	: 8.6 (H25/6/26)	→	-

【港湾口】

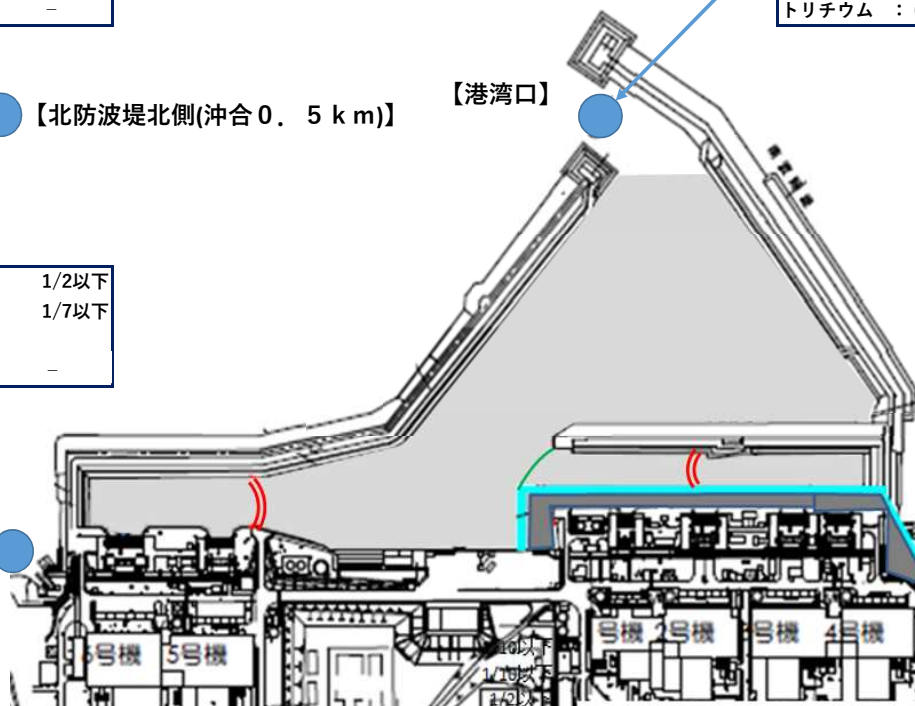
セシウム134	: 3.3 (H25/12/24)	→	ND(0.34) 1/9以下
セシウム137	: 7.3 (H25/10/11)	→	ND(0.36) 1/20以下
全ベータ	: 69 (H25/8/19)	→	ND(12) 1/5以下
トリチウム	: 68 (H25/8/19)	→	0.73 1/90以下

【南防波堤南側 (沖合0.5 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.24)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.29)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: ND (H25)	→	-

【5,6号機放水口北側】

海側遮水壁
シルトフェンス
工事用汚濁防止フェンス



【南放水口付近（※）】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.77)
セシウム137	: 3 (H25/7/15)	→	ND(0.74) 1/4以下
全ベータ	: 15 (H25/12/23)	→	8.0
トリチウム	: 1.9 (H25/11/25)	→	0.30 1/2以下

注：全ベータ測定値とは、ベータ線を放出する放射性物質（カリウム40、セシウム137、ストロンチウム90及び子孫核種のイットリウム90など）をまとめて測定した放射能濃度である。一般に海水には、天然核種のカリウム40が12ベクレル／リットル程度含まれている。

※R3年12月に採取地点の浸食により、採取地点を南放水口から南に約320mの地点から同放水口から南に約1,300mの地点に変更。R5年9月に浸食が解消したことから、採取地点を元の南放水口から南に約320mの地点に変更。更にR6年6月11日からは浸食により採取地点を南放水口から南に約1,300mの地点に変更。